

殿

防水保証書

年 月 日

1. 工事物件名	防水保証書ひな形
2. 現場住所	
3. 防水工法	
4. 施工部位	
5. 施工面積	
6. 保証期間	発注者又は居住者が漏水を知った時から1年間（1年の期間内に当該漏水の通知を受けたものに限る）。 但し、上記期間内であっても、年 月 日より10年間が発注者が漏水を知った時から5年の何れか短い時効期間が到来した場合、防水層の修補責任を負いかねます。

【防水保証範囲】

上記工事に関し防水工事が施工した屋根防水層から建物内部への雨水の浸入が発生した場合及び屋内防水層から隣接又は下階の建物内部への水の浸入が発生した場合（本書では漏水という）には、次の責任範囲により当該防水層の修補を致します。

【責任範囲】

- ① 漏水が防水工事の施工に起因する場合は、防水工事事業の責任とします。
- ② 漏水が防水工事材料に起因する場合は、防水材料製造会社の責任とします。

【免責事項】

- ① 天災地変等不可抗力と認められる場合
- ② 工事対象物の構造上又は設計上の欠陥に起因する場合
- ③ 防水施工箇所以外からの漏水の場合
- ④ 防水施工会社及び防水材料製造会社以外の第三者の過失又は故意による防水層損傷の場合
- ⑤ 注意事項に反した使用及び維持管理の不良により生じた漏水の場合
- ⑥ 当該漏水に関し防水工事事業及び／又は防水材料製造会社が調査の要請をしたときに調査の機会が与えられない場合
- ⑦ 建物の所有権が移転された場合に防水工事事業の承諾がない場合
- ⑧ 受領確認欄も含めて、本書に捺印がない場合

【使用上の注意事項】

- ①
- ②
- ③
- ④
- ⑤

換えをお願いします。

【維持管理のお願い】

- ①
- ②
- ③
- ④
- ⑤

防水工事事業： _____ (印)

防水材料製造会社： _____ (印)

【受領確認欄】 上記記載事項を確認し、防水保証書を受領したことを確認する。

年 月 日

(印)